

経営管理権集積計画

1 個別事項

整理番号	集 R4 松 36	経営管理権の設定を受ける市町村 (乙)							(名称)		(所在地)					
		経営管理権を設定する森林の森林所有者 (甲)							(氏名又は名称)		(住所又は所在地)					
乙が経営管理権の設定を受ける森林 (A)											経営管理権の 始期	経営管理権の 存続期間 (終期) (B)	経営管理権に基づいて 行われる経営管理の内容 (C)	木材の販売による収益 から伐採等に要する経費を 控除してなお利益がある場合 において甲に支払われるべき金 銭 (D) の額の算定方法	乙が甲にDを支払うべき時期、 相手方及び方法	備考
番号	所在・地番	林班	小班	枝番	地目	面積 ㎡	現況 樹種	現況 林齢								
1	松山市横谷甲484	488	171	0	山林	840	スギ	41	公告の日から	2033. 3. 31	<p>○経営管理実施権の設定は行わない。</p> <p>・乙は、存続期間中に保育間伐を1回実施する。</p> <p>・伐採の対象となる樹種はスギまたはヒノキとする。ただし、前述した樹種を伐採する際にその他の立木が支障となる場合は、対象森林の公益的機能を損なわない範囲において伐採することができるものとする。</p> <p>・乙は、当該森林の管理のため、森林の巡視を行うものとする。また、気象災害等の恐れがある場合は、その都度巡視を行うものとする。なお、当該巡視は、林道等からの目視等によって判断できる限りで行う。</p>	<p>○経営管理実施権の設定は行わない。</p> <p>・木材の販売収益が発生する森林整備は実施しないため、乙から甲への金銭の支払いは発生しない。</p> <p>※留意事項 乙が経営管理を行うために要した経費及び森林保険を付保する場合における保険料は、乙が負担するものとする。</p>	<p>○経営管理実施権の設定は行わない。</p> <p>○乙から甲に対して金銭の支払は行わない。</p>	<p>経営管理権設定区域は別添図面のとおり</p>		
2	松山市横谷乙233-2	492	5	0	保安林	2,060	スギ・ヒノキ	43	同上	同上						
3	松山市横谷丁1	492	6	0	保安林	6,615	スギ	65	同上	同上						
4	松山市横谷丁2	492	7	0	保安林	5,770	ヒノキ	65	同上	同上						
5	松山市横谷丁3	492	8	0	保安林	2,291	ヒノキ	65	同上	同上						
6	松山市横谷丁4	492	9	0	保安林	2,943	ヒノキ	65	同上	同上						
7	松山市横谷丁5	492	10	0	保安林	3,649	ヒノキ	65	同上	同上						
8	松山市横谷丁6	492	11	0	保安林	4,552	ヒノキ	65	同上	同上						
9	松山市横谷丁7	492	12	0	保安林	4,289	ヒノキ	65	同上	同上						
10	松山市横谷丁8	492	13	0	保安林	2,550	スギ・ヒノキ	65	同上	同上						

乙が経営管理権の設定を受ける森林 (A)									経営管理権の 存続期間 (終期) (B)	経営管理権に基づいて行 われる経営管理の内容 (C)	木材の販売による収益か ら伐採等に要する経費を 控除してなお利益がある 場合において甲に支払わ れるべき金銭 (D) の額 の算定方法	乙が甲にDを支払 うべき時期、相手 方及び方法	備考	
番号	所在・地番	林班	小班	枝番	地目	面積 ㎡	現況 樹種	現況 林齢						
11	松山市横谷丁16	492	18	0	保安林	3,719	スギ・ ヒノキ	65	公告の日から	2033.3.31	<p>○経営管理実施権の設定は行わない。</p> <p>・乙は、存続期間中に保育間伐を1回実施する。</p> <p>・伐採の対象となる樹種はスギまたはヒノキとする。ただし、前述した樹種を伐採する際にその他の立木が支障となる場合は、対象森林の公益的機能を損なわない範囲において伐採することができるものとする。</p> <p>・乙は、当該森林の管理のため、森林の巡視を行うものとする。また、気象災害等の恐れがある場合は、その都度巡視を行うものとする。なお、当該巡視は、林道等からの目視等によって判断できる限りで行う。</p>	<p>○経営管理実施権の設定は行わない。</p> <p>・木材の販売収益が発生する森林整備は実施しないため、乙から甲への金銭の支払いは発生しない。</p> <p>※留意事項 乙が経営管理を行うために要した経費及び森林保険を付保する場合における保険料は、乙が負担するものとする。</p>	<p>○経営管理実施権の設定は行わない。</p> <p>○乙から甲に対して金銭の支払は行わない。</p>	<p>経営管理権設定区域は別添図面のとおりに</p>
12	松山市横谷丁17	492	19	0	保安林	2,599	ヒノキ	64	同上	同上				
13	松山市横谷丁26	492	21	0	保安林	1,126	ヒノキ	64	同上	同上				
14	松山市横谷丁27	492	22	0	保安林	6,890	ヒノキ	65	同上	同上				
15	松山市横谷丁28	492	23	0	保安林	6,419	ヒノキ	65	同上	同上				
16	松山市横谷丁29	492	24	0	保安林	3,577	ヒノキ	65	同上	同上				
17	松山市横谷丁30	492	25	0	保安林	224	ヒノキ	65	同上	同上				
18	松山市横谷丁31	492	26	0	保安林	5,350	ヒノキ	64	同上	同上				
19	松山市横谷丁32	492	27	0	保安林	1,110	スギ	43	同上	同上				
20	松山市横谷丁33	492	28	0	保安林	682	スギ	43	同上	同上				

乙が経営管理権の設定を受ける森林（A）									経営管理権を設定する森林の甲以外の権原者（E）				備考
番号	所在・地番	林班	小班	枝番	地目	面積 ㎡	現況 樹種	現況 林齢	住所又は所在地	氏名又は名称	権原の種類	同意印	
1	松山市横谷甲484	488	171	0	山林	840	スギ	41					
2	松山市横谷乙233-2	492	5	0	保安林	2,060	スギ・ ヒノキ	43					
3	松山市横谷丁1	492	6	0	保安林	6,615	スギ	65					
4	松山市横谷丁2	492	7	0	保安林	5,770	ヒノキ	65					
5	松山市横谷丁3	492	8	0	保安林	2,291	ヒノキ	65					
6	松山市横谷丁4	492	9	0	保安林	2,943	ヒノキ	65					
7	松山市横谷丁5	492	10	0	保安林	3,649	ヒノキ	65					
8	松山市横谷丁6	492	11	0	保安林	4,552	ヒノキ	65					
9	松山市横谷丁7	492	12	0	保安林	4,289	ヒノキ	65					
10	松山市横谷丁8	492	13	0	保安林	2,550	スギ・ ヒノキ	65					

乙が経営管理権の設定を受ける森林（A）									経営管理権を設定する森林の甲以外の権原者（E）				備考
番号	所在・地番	林班	小班	枝番	地目	面積 ㎡	現況 樹種	現況 林齢	住所又は所在地	氏名又は名称	権原の種類	同意印	
11	松山市横谷丁16	492	18	0	保安林	3,719	スギ・ ヒノキ	65					
12	松山市横谷丁17	492	19	0	保安林	2,599	ヒノキ	64					
13	松山市横谷丁26	492	21	0	保安林	1,126	ヒノキ	64					
14	松山市横谷丁27	492	22	0	保安林	6,890	ヒノキ	65					
15	松山市横谷丁28	492	23	0	保安林	6,419	ヒノキ	65					
16	松山市横谷丁29	492	24	0	保安林	3,577	ヒノキ	65					
17	松山市横谷丁30	492	25	0	保安林	224	ヒノキ	65					
18	松山市横谷丁31	492	26	0	保安林	5,350	ヒノキ	64					
19	松山市横谷丁32	492	27	0	保安林	1,110	スギ	43					
20	松山市横谷丁33	492	28	0	保安林	682	スギ	43					

乙が経営管理権の設定を受ける森林（A）									経営管理権を設定する森林の甲以外の権原者（E）				備考
番号	所在・地番	林班	小班	枝番	地目	面積 ㎡	現況 樹種	現況 林齢	住所又は所在地	氏名又は名称	権原の種類	同意印	
21	松山市横谷乙168	493	74	0	山林	5,987	スギ	55					
22	松山市横谷甲183	493	145	0	山林	2,685	スギ	50					
23	松山市横谷甲189-1	493	156	0	山林	384	スギ	55					
24	松山市横谷甲194	493	161	0	山林	1,166	スギ	55					
25	松山市横谷甲195	493	162	0	山林	994	スギ	55					
26	松山市横谷甲196	493	163	0	山林	794	スギ	55					
27	松山市横谷乙214	488	5	0	山林	4,105	ヒノキ・スギ	65					
28	松山市横谷乙215	488	6	0	山林	9,631	スギ・ヒノキ	59					
29	松山市横谷乙310	488	105	0	山林	1,187	ヒノキ・スギ	54					

この計画に同意する。

権利の設定を受ける市町村（乙）

住 所（同上）

松山市長 野志 克仁

権利を設定する森林の森林所有者（甲）

住 所（同上）



2 共通事項

この経営管理権集積計画の定めるところにより設定される経営管理権及び経営管理受益権は、1の個別事項に定めるもののほか、次に定めるところによる。

(1) 経営管理権に基づいて行われる経営管理の内容

乙は、1の個別事項に記載された森林（以下「当該森林」という。）の経営管理のため、1の個別事項に定めるところにより立木の伐採及び造林並びに保育（以下「伐採等」という。）を実施する。

また、木材の販売収益が発生する森林整備は実施せず、経営管理実施権の設定も行わない。

(2) 受託者の義務

この経営管理権集積計画の定めるところにより、乙は、自己の財産に対するのと同様の注意義務をもって経営管理を行う義務を負う。

(3) 経営管理実施権配分計画の作成

この経営管理権集積計画の定めるところにより、経営管理実施権配分計画の作成は行わない。

(4) 経営管理権の対象とする森林

当該森林にある立木竹は、甲に帰属する。

(5) 経営管理権及び経営管理受益権の設定

この経営管理権集積計画の公告により、乙に経営管理権が、甲に経営管理受益権（金銭の支払を受ける権利）が、それぞれ設定される。

乙に設定された経営管理権は、この公告の後において当該森林の森林所有者となった者（国その他の森林経営管理法施行規則に定められた者を除く。）に対しても、その効力があるものとする。

(6) 租税公課の負担

甲は、経営管理権が設定された森林に対する固定資産税その他の租税を負担する。

(7) 経営管理権の設定等の条件

① 乙は、甲が次のいずれかに該当する場合には、この経営管理権集積計画のうち当該森林に係る部分を取り消すことができる。

ア 甲が偽りその他不正な手段により乙に経営管理権集積計画を定めさせたことが判明した場合

イ 甲が当該森林に係る権原を有しなくなった場合

② 乙は、災害その他の事由により当該森林において（1）に掲げる事項を実施することが著しく困難となったときは、気象災等により被害が発生して（9）により復旧を行う場合を除き、この経営管理権集積計画のうち当該森林に係る部分を取り消すことができる。

③ 甲は、1の個別事項に定める経営管理権の存続期間の途中において解約しようとする場合は、乙の同意を得るものとする。

④ 甲及び乙は、この経営管理権集積計画に定めるところにより設定される経営管理権に関する事項は変更しないものとする。

(8) 森林への立入り及び施設の利用等

① 乙は、（1）、（9）に掲げる事項の実施のため必要があるときは、当該森林に随時立ち入り、若しくは乙以外の者を立ち入らせ、又は当該森林に設定された路網その他の施設を使用し、若しくは乙以外の者に使用させることができる。

② 乙は、（1）、（9）に掲げる事項の実施のため必要があるときは、当該森林内に森林作業道その他の施設を設置し、又は乙以外の者に設置させることができる。この場合において、乙は、当該設置された施設の維持管理を行うものとする。

③ 乙は、当該森林の立木が第三者に対して損害を及ぼすおそれがあると認める場合であって、かつ第三者から当該立木について除去等を行いたい旨の申出がある場合には、第三者が当該立木について除去等を行うことを認めることができる。

(9) 森林保険

- ① 気象災等により当該森林について被害が発生した場合、乙が復旧を行うこととし、復旧内容は甲と乙の協議により定める。
- ② 乙は、乙の費用負担において甲を被保険者として当該森林に生育する樹木について森林保険を付保することができることとし、甲はこれを承諾する。なお、当該付保に関する諸手続は乙がこれを行うものとする。
- ③ 乙が②により森林保険を付保した場合であって、天災地変等の事由により保険事故が発生し、甲に支払われる保険金があるときには、甲は当該保険金の請求及び受領乙に委任するものとし、乙が当該保険金を復旧の用に供するため、甲は当該保険金全額を乙に帰属させるものとする。

(10) 災害等による経営又は管理の不実施

次に掲げる場合において、(1)に掲げる事項を実施する予定の森林について(1)に掲げる事項を実施することが不可能又は不適當になったときは、乙は、当該事項の一部又は全部を実施しないことができる。

- ① 災害その他の原因により当該森林の全部又は一部が損壊したとき
- ② 路網の損壊等により当該森林への到達が困難となったとき
- ③ 当該森林の土地が公用、公共用又は公益事業の用に供されるとき

(11) 損害の賠償

- ① 乙は、乙の責めに帰すべき事由によって甲に不利益を生じさせたときには、その不利益に相当する額を支払うものとする。
- ② 乙の責めに帰すことのできない事由によって甲に不利益が生じたときは、乙は損害賠償責任を負わない。

(12) 経営管理権の存続期間の満了時及び消滅時における清算の方法

経営管理権の存続期間の満了した場合において、甲と乙との間で金銭の支払は生じないとともに、立木の所有権は甲に帰属するものとする。

(13) 甲の通知及び届出

- ① 甲は、当該森林について、第三者に権利を移転若しくは設定する場合には、あらかじめ乙にその旨を通知しなければならない。
- ② 甲及び甲の相続人又は受遺者は、当該森林について権利の喪失があった場合、甲が住所又は名称を変更した場合、甲が死亡した場合その他当該経営管理権集積計画を変更する必要がある場合は遅滞なく乙に申し出るものとする。

(14) その他

この経営管理権集積計画に定めのない事項及びこの経営管理権集積計画に疑義が生じたときは、甲、乙が協議して定める。